2025 年度

5月 園だより

社会福祉法人雲柱社
五日市保育園

園庭のプラタナスの木にも緑が芽生え、やわらかな淡い新緑に染まった山々がとてもきれいです。俳句の季語では、春の山の草木が一斉に若芽を吹いて明るい様子を「山笑う」と表すそうです。確かに五日市の山々も楽しそうな表情に見えますね。

4 月に入園したお友だちも、進級したお友だちも、少しずつ新しい環境に慣れ、笑顔で楽しそうに遊んでいる姿を見ると、一人ひとりにとって安心できる場所になってきたのかなと嬉しく思います。

「お誕生日おめでとう」

保育園では一人ひとりのお誕生日の日に（お休みの日の場合は近い日に）、みんなで賛美歌を歌ってお祝いします。1 年間でお友だちの数だけ、さらには先生のために歌ってくれることもあるので子どもたちはすぐに覚えて大好きな讃美歌の一つになります。きっとお家でも口ずさむことがあるかもしれませんので紹介します。

生まれる前から

生まれる前から　神さまに
守られてきた　ともだちの
誕生日です　おめでとう
生まれて今日まで　みんなから
愛されてきた　ともだちの
誕生日です　おめでとう

（こども讃美歌より）

この讃美歌は、誕生日をお祝いしてもらっているこどもだけでなく、歌う人自身も「神さまから守られている、みんなから愛されている」と温かい気持ちになる讃美歌です。

5 月 5 日はこどもの日です。こどもたち一人ひとりが神さまから、そしてご家庭や保育園など周りの人から大切にされ、愛されている喜びに満ちた毎日を過ごしてほしいと思います。　（園長　関根富美子）

自分は愛してもらえているという感覚

こどもが怖くて不安な時に信頼出来る大人にしっかりとくっついて「もう　だいじょうぶ」と安心できるようにすることをアタッチメントといいます。このアタッチメントを経験することを通して「何かあれば必ず助けてくれる人がいる」という確信をもって子どもは少しずつ一人でもいろいろなことに挑戦していけるようになります。

そして、身近な大人と視線を合わせて時間を共に過ごし、喜びを一緒に味わうことは子どもの時代にとても大切なもので「自分は愛してもらえている」という感覚に繋がります。その感覚は子どもがその後に出会う様々なチャレンジの際に大きな自信となり、よりどころとなっていきます。
私たち大人はそれを心がけて、子どもと接したいですね。

（キリスト教保育　4 月号より）

こどものお祈り

てんのかみさま
今日も保育園での一日をおまもりくださってありがとうございます
ダンゴムシが石の下にいるのを見つけました
川のたまごから　おたまじゃくしがかえりました
つつじの花がさいてきれいです
うれしい一日をありがとうございます
これから帰る道もどうぞおまもりください
このお祈りをイエスさまのお名前によっておささげいたします
アーメン